



# 聴きます その声 伝えます!

日頃よりご支援いただきありがとうございます。市政報告をお送りいたします。

新緑がきらきらと輝く美しい季節となりました。名張市は自然に溢れ、たくさんの見どころがあります。車をお持ちの方でしたら気軽に行くことができますが、公共交通を利用しての移動は、なかなか難しいところもあるように感じています。先日、会派「喜働」で村上市と新発田市の公共交通の視察に行ってきました。その内容も踏まえながら、3月一般質問をさせていただきます。これからも名張市の更なる発展、安心安全な住みよいまちづくりに努めたいと思います。



2月28日～3月23日開会  
本会議・一般質問より

第375回定例会

## 命を守る市立病院の運営と経営、 救急対応について



現状

高齢者のみの世帯における不安事項のひとつに、緊急時の対応があります。体調を悪くして救急車を呼んだ時、患者本人と意思疎通が取れない場合の対応や、家族などと連絡が取れず緊急手術等の同意書への対応が遅れてしまう事例が、今、大都市など日本各地で起き始めています。

Q. 平成28年3月以降の救急医療情報キットの配布状況は？

A. 平成28年3月時点では、3145世帯4736名に配布していた。その後、平成29年2月までに3224世帯4849名に配布。数字だけの単純な増減は79世帯113名の増であるが、転居や施設入所、死亡等で増減があり、新規には261世帯413名増えた。

要望事項

救急医療情報キットは緊急時に大変役立つので、多くの方に備えていただけるように、より一層、推進してほしい。



Q. AEDの使い方を救命講習などで取り入れてから現在まで、何人が受講しましたか？ また、現場に救急車が到着した時、患者の心肺機能が停止していたケースは何件で、そのうちAEDの準備が整っていたのは何件か？

A. 講習を受けたのは約1万人。平成28年中に救急現場での患者の心肺が停止していたケースは83件。そのうち現場にAEDが準備されていたのは13件。電気ショックを実施したケースは2件。今後も救命講習参加者を増やし、現場でのAED利用を推進するように努めるとともに、インターネットを活用したイーラーニング学習形態の導入も行い、救命講習などの受講生を増やす環境整備に努めていく。

要望事項

救急隊が到着するまでの間に現場に居合わせた人により応急手当が行われることが救命率向上に繋がる。福岡県の八女消防本部で取り組んでいるように、AEDを使える人がいることを知らせる「救マーク制度」などを活用して、安心して暮らせる名張市を目指していただきたい。



## 市民の移動手段を守る公共交通について

現状

地域公共交通網形成計画で報告されているバス利用者アンケートでは、ナッキー号の改善点として、土・日曜日の運行希望や車両を増やして相互運行(逆回りの追加)を求める声が共に5割を超えている。また、公共交通の利用が困難な空白地区が7箇所ある。

Q. アンケート結果を踏まえた今後の計画は？

A. 現在のナッキー号は、往復運行でないため、停留所を1つ分戻りたくても、1周回らないと行くことができない。仮にバスを逆運行させると、少なくとも倍の経費がかかるが、利用者は2倍にはならない。別の方法も考えたい。



Q. 利用者の求めに応じて小回りのきくデマンド型交通の導入やタクシーの活用は、今後どのように進めていく予定か？

A. 需要に応じて導入していきたい。一口にデマンド型といっても、定時定路線型に近いものから、ドア・トゥ・ドアのものまで様々な形態がある。定時定路線型は分かりやすいが、一定の人数が集まる必要がある。ドア・トゥ・ドア型は、他市の例では当初は乗車率が高くても徐々に利用率が下がる傾向も見られる。また、配車の手間もかかる。タクシーの配車ノウハウを使っでの運用は考えている。地域の実状に応じて検討していきたいと考える。

要望事項

寄付や企業の社会貢献、CSR、ネーミングライツなどはもちろん、静岡県富士宮市のバス停オーナー制度のような取り組みも参考にして、あらゆる手段を使って経費を確保し、公共交通の維持に努めていただきたい。



## 現状

学校統廃合により、平成26年4月から統合先の錦生赤目小学校へ通学することとなった旧錦生小学校区の児童の通学手段を引き続き確保するとともに、市内小中学校の児童生徒が文化施設等で校外学習活動を行う際の送迎車両として活用できるよう、自家用スクールバス(中型2台)を購入予定である。

Q. 利用予定は、いつ頃からか？  
校外授業では、どのように運行するのか？



A. 契約から納入までに1年近くかかるので、平成30年4月からを予定。運行は委託する。登下校の時間と文化スポーツ施設の利用時に運行予定。休日等(プール開放の期間以外の夏休み、冬休み、春休み、休日、日曜日、祝日)はスクールバスとしては使わない。他の用途での活用も検討したい。教育委員会に留まらず、幅広くバスの有効活用を考えたい。

## 要望事項

休日などのバスの空いている日を利用して、公共交通の手段がない地域や観光客にも利用できるようにしてほしい。名張市全体で利活用していただけるよう、強く要望する。

## 観光を通じての名張市の経済活性化について

## 現状

三重県3市と奈良県1市2村(津市、伊賀市、宇陀市、曾爾村、御杖村、名張市)で構成する東大和西三重観光連盟で、昨年はプロモーションビデオを作成した。

Q. 東大和西三重観光連盟の今後の取り組みは？ また、プロモーションビデオの現状と配布状況、その後の活用は？

A. 昨年度は、都心部の近鉄主要駅での観光キャンペーンや名松線復旧に伴う街道ウォークなどを開催。現在、5月の総会に向けて協議中だが、28年度の継続と新たな取り組みを予定している。ビデオは、作成後、各市町村に配布。観光PRイベントなどでも活用している。日本語、英語、中国語版がある。一般向けには配布していない。

## 現状

広域観光連携推進事業として、地方創生推進交付金を活用し、周辺市村と広域連携により、「日本の歴史文化」などをテーマとした観光商品の開発や受け入れ環境の整備などを進める。外国人旅行者などの誘客を図るとともに、観光地域づくりの舵取り役を担うDMO法人の設立に向けた取り組みを進める予定。

Q. 事業は、どのように進めていく予定か？ ターゲットはどこの国を想定しているか？ また、三重県との連携は、どのように進める予定か？

Q. どのようにして名張市単独の情報を伝えるか？

A. 近鉄は連盟会員ということで東大和西三重のパンフレットは駅に置いてもらっている。名張市単独のパンフレットは申請中。(現在、設置済)

## 要望事項

転勤で名張に来た方はもちろん、仕事などで日本に来ている外国籍の方にも分かりやすく編集されたDVDを届けてほしい。著作権などで関係者との協議が必要だと思うが、一人でも多くの方に名張の良さを伝えていただきたい。



A. 29年4月から取り組む。法人設立時期は未定。ターゲットは、自然文化に関心の強い、欧米。三重県が集客に力を入れている台湾、タイ、香港、シンガポールも想定している。県との連携については、名張市として、産業観光のプレゼン用のパワーポイントを作成し提出済みである。

## 要望事項

2020年の東京五輪は、外国人誘客をする上で、またと無いチャンス。是非、三重県とも更にタイアップを強め、努力していただきたい。

## 足立よしえ市政報告会開催のお知らせ

報告会では新聞の内容以外に、日頃の活動や今後、取り組みたいこととお伝えし、また皆様からの意見や要望もお聴きしたいと思います。是非、お越し下さい。



- ◆5月27日(土) 19:00～ 場所/比奈地市民センター
- ◆5月28日(日) 19:00～ 場所/すずらん台市民センター
- ◆6月2日(金) 19:00～ 場所/梅が丘コミュニティー・プラザ「NAURAA(ナウラ)」
- ◆6月4日(日) 19:00～ 場所/つつじが丘市民センター



皆様からのご意見、  
ご要望を  
お待ちしております。

足立よしえ

検索

発行：足立よしえ後援会・足立よしえ  
住所：名張市つつじが丘北5-83  
メールアドレス：zucchan-eve@docomo.ne.jp  
電話番号：090-7898-9453(足立直通)  
：0595-68-3118(FAX 兼用)  
ホームページ：http://www.adachiyoshie.jp